

第 77 回

トラック運送業界の景況感（速報）

平成 24 年 1 月～ 3 月期

平成 24 年 1～3 月期の景況感は、東日本大震災から 1 年が経過する中で、震災後の落ち込みから持ち直しがみられつつあり、円高修正や株価上昇など、改善の兆しを感じられるようになったが、個人消費や復興特需が思いのほか伸びず、イラン情勢の影響による原油価格の上昇が懸念材料となった。

このような中、トラック運送業界の景況感の判断指数は▲49 となり、前回（▲47）より 2 ポイント悪化した。指標は悪化した。軽微な悪化にとどまった。

今後は、先行きの回復期待が高まっているものの、原油価格の上昇など不安材料は多い。業界の景況感の判断指標は、今回から 13 ポイント悪化の▲62 が見込まれている。

平成 24 年 6 月 1 日

公益社団法人 全日本トラック協会

1. 今回（平成24年1月～3月期）の状況

(1) 概況

平成24年1～3月期におけるトラック運送業界の景況感は、「好転」とした事業者は13%（前回6%）、「悪化」とした事業者は54%（前回45%）で、判断指標は▲49となり、前回（▲47）より2ポイント悪化した。

(2) 特別積合せ貨物

宅配貨物では、輸送数量は「減少」とする事業者が39%、「増加」とする事業者が17%で、判断指標は▲30となり、前回（▲29）から1ポイント悪化した。営業収入は「減少」とする事業者が48%、「増加」とする事業者が17%で、判断指標は▲39となり、前回（▲39）と横ばいで推移している。営業利益は「減少」とする事業者が57%、「増加」とする事業者が9%で、判断指標は▲57となり、前回（▲41）から16ポイント悪化した。

宅配以外の特積貨物では、輸送数量は「減少」とする事業者が41%、「増加」とする事業者が20%で、判断指標は▲32となり、前回（▲25）から7ポイント悪化した。営業収入は「減少」とする事業者が47%、「増加」とする事業者が15%で、判断指標は▲42となり、前回（▲33）から9ポイント悪化した。営業利益は「減少」とする事業者が56%、「増加」とする事業者が10%で、判断指標は▲58となり、前回（▲42）から16ポイント悪化した。

(3) 一般貨物

一般貨物では、輸送数量は「減少」とする事業者が39%、「増加」とする事業者が27%で、判断指標は▲19となり、前回（▲18）からほぼ横ばいで推移している。営業収入は「減少」とする事業者が43%、「増加」とする事業者が23%で、判断指標は▲25となり、前回（▲23）と顕著な変化はみられなかった。営業利益は「減少」とする事業者が54%、「増加」とする事業者が17%で、判断指標は▲49となり、前回（▲35）から14ポイント悪化した。

(4) 運賃水準

運賃水準は、宅配貨物は▲22（前回▲24）と2ポイント改善し、宅配以外の特積貨物は▲20（前回▲15）と5ポイントの悪化、一般貨物は▲24（前回▲14）と10ポイントの悪化となった。

(5) 実働率等

実働率は▲18（前回▲13）、実車率は▲15（前回▲13）となり、悪化した。

雇用状況（人手の過不足）は+24（前回+11）と不足感がある。採用状況は▲12（前回▲7）、所定外労働時間は▲10（前回▲8）で、労働関連の指標はやや悪化した。

保有車両台数は▲6（前回▲11）、貨物の再委託（下請運送会社への委託割合）は▲8（前回▲14）となり、下げ止まった。

(6) 地域別および取扱い品目別

業界の景況感を地域別にみると、東北は相対的に水準が良い。前回から水準を上げているのは四国、関東、近畿。他方、北海道、中国、北陸信越は、前回より水準を下げている。

事業者の規模別では、規模が小さくなるほど水準が低い。

主な取扱い品目別では、機械関連貨物が前回に続き改善し、最も水準が良い。他方、建設関連貨物はやや水準を下げており、消費関連貨物、その他貨物は横ばいである。

2. 今後（平成24年4月～6月期）の見通し

(1) 概況

平成24年4～6月期の見通しは、業界の景況感の判断指標は▲62で、今回から13ポイント下げる見込み。

(2) 特別積合せ貨物

宅配貨物は、輸送数量、営業収入、営業利益とも改善する見込み。

宅配以外の特積貨物は、輸送数量、営業収入、営業利益とも僅かに水準を下げる見込み。

(3) 一般貨物

一般貨物は、輸送数量、営業収入、営業利益とも水準を下げる見込み。

(4) 運賃水準

宅配貨物、宅配以外の特積貨物は横ばいの見込み。一般貨物は水準を僅かに下げる見込み。

(5) 実働率等

実働率、実車率はやや水準を下げる見込み。雇用状況（人手の過不足）はやや不足、採用状況は横ばい、所定外労働時間はやや水準を下げる見込み。

保有車両台数は横ばい、貨物の再委託（下請運送会社への委託割合）は、僅かに水準を下げる見込み。

(6) 地域別および取扱い品目別

業界の景況感を地域別にみると、東北は引き続き相対的に水準が良い見込み。北海道は水準を下げ最も厳しい見込み。北陸信越も引き続き低水準の見込み。

事業者の規模別では、大規模事業者ではやや改善するが、小規模事業者ではやや水準を下げる見込み。

主な取扱い品目別では、消費関連貨物、機械関連貨物、その他貨物が水準を下げる見込み。

3. 特積貨物の概況

項 目		概 況						
		0%	20%	40%	60%	80%	100%	
宅配貨物	輸送数量	前回	0	14	51	27	8	(-29)
		今回	0	17	43	30	9	(-30)
		見通	4	26	35	30	4	(-4)
	<ul style="list-style-type: none"> ・前回からほぼ横ばいである。規模別では大規模事業者は前回からは改善しているが、水準は低い。 ・今後は水準を上げる見込み。 							
	営業収入 (売上高)	前回	1	11	45	32	10	(-39)
今回		0	17	35	39	9	(-39)	
見通		0	26	35	35	4	(-17)	
<ul style="list-style-type: none"> ・前回からほぼ横ばいである。規模別では大規模事業者は前回からは改善しているが、水準は低い。 ・今後は水準を上げる見込み。 								
営業利益	前回	1	7	51	32	9	(-41)	
	今回	0	9	35	48	9	(-57)	
	見通	0	9	57	35	0	(-26)	
<ul style="list-style-type: none"> ・前回より16ポイント悪化した。規模別では規模が小さいほど前回からの改善が悪く、水準も低い。 ・今後は水準を上げる見込み。 								
運賃・料金の水準	前回	1	1	76	17	5	(-24)	
	今回	0	4	70	26	0	(-22)	
	見通	0	4	70	26	0	(-22)	
<ul style="list-style-type: none"> ・前回からほぼ横ばいである。規模別では大規模事業者は前回からは改善しているが、小規模、中規模事業者は僅かに悪化している。 ・今後も今回とほぼ同様の水準の見込み。 								

【調査の概要】

平成5年3月より開始、以降3カ月ごとに実施。第77回調査は、平成24年5月1日に、WEBモニターに対して調査開始。平成24年5月21日回収分までを集計。

	特積	一般	回答事業者 全体
回収数	72	797	826

※一部回答事業者の重複あり

※前回までの調査対象者は、事業規模が相対的に大きい事業者の比率が高かったが、本調査では、業界全体の事業者の事業規模構成が反映されるよう、調査対象の入れ替えを実施した。また、前回までの調査は郵送法であるが、本調査からはインターネットによる調査に変更した。

項 目		概 況						
		0%	20%	40%	60%	80%	100%	
宅	輸送数量	前回	0	14	52	29	5	(-25)
		今回	0	20	39	29	12	(-32)
		見通	0	15	41	36	8	(-37)
配		<ul style="list-style-type: none"> ・前回より7ポイント悪化した。規模別では大規模事業者は前回からは改善しているが、水準は低い。 ・今後はやや水準を上げる見込み。 						
以	営業収入 (売上高)	前回	0	11	52	32	6	(-33)
		今回	0	15	37	37	10	(-42)
		見通	0	12	41	39	8	(-44)
外		<ul style="list-style-type: none"> ・前回より9ポイント悪化した。規模別では大規模事業者は前回からは改善しているが、水準は低い。 ・今後も今回とほぼ同様の水準の見込み。 						
の	営業利益	前回	0	5	52	37	5	(-42)
		今回	0	10	34	44	12	(-58)
		見通	0	10	31	49	10	(-59)
特		<ul style="list-style-type: none"> ・前回より16ポイント悪化した。規模別では大規模事業者は前回からは改善しているが、水準は低い。 ・今後も今回とほぼ同様の水準の見込み。 						
積	運賃・料金の水準	前回	0	3	82	14	2	(-15)
		今回	0	2	81	12	5	(-20)
		見通	0	5	75	17	3	(-19)
貨		<ul style="list-style-type: none"> ・前回より5ポイント悪化した。規模別では中規模事業者は前回からは改善しているが、水準は低い。 ・今後も今回とほぼ同様の水準の見込み。 						
物								

凡例

	大幅に増加・上昇・好転・人手不足 +2点 やや 増加・上昇・好転・人手不足 +1点 横ばい 0点 やや 減少・低下・悪化・人手過剰 -1点 大幅に減少・低下・悪化・人手過剰 -2点	(注1) 各グラフの上段は前回の状況、中段は今回の状況、下段は今後の見通しを示す。 (注2) 各グラフの構成比は四捨五入のため、合計が100にならない場合がある。
--	--	--

(注3) グラフ右のカッコ内は業況判断指標。指標は、各設問の回答に対し、増加・好転+1~+2、横ばい0、減少・悪化-1~-2の点数を与え、1事業者当たりの平均を100倍することにより算出している。

A (設問Aの回答者数) = a₁+a₂+a₃+a₄+a₅ (設問Aの選択肢1~5の回答数の和)

指標 = { (+2×a₁) + (+1×a₂) + (0×a₃) + (-1×a₄) + (-2×a₅) } ÷ A × 100

4. 一般貨物の概況

項目	概況					
	0%	20%	40%	60%	80%	100%
輸送数量 (全体)	前回 1	18	49	28	5	(-18)
	今回 3	24	35	30	9	(-19)
	見通 1	16	40	33	9	(-32)
<p>・前回からほぼ横ばいである。地域別では東北、四国、関東が前回から改善しており、東北は水準が最も高い。品目別では機械関連が改善しており、水準も最も高い。</p> <p>・今後は水準を下げる見込み。</p>						
営業収入 (売上高)	前回 0	19	45	29	7	(-23)
	今回 2	21	34	34	9	(-25)
	見通 2	13	39	36	10	(-40)
<p>・前回からほぼ横ばいである。地域別では東北、四国、関東が前回から改善しており、東北は水準が最も良い。品目別では機械関連や消費関連が改善しているが、水準はやや低い。</p> <p>・今後は水準を下げる見込み。</p>						
営業利益	前回 1	12	45	35	7	(-35)
	今回 1	16	30	40	14	(-49)
	見通 1	10	29	47	13	(-61)
<p>・前回より14ポイント悪化した。地域別では四国が前回から改善している。品目別では機械関連が改善しているが、建設関連が悪化し水準は最も低い。</p> <p>・今後は水準を下げる見込み。</p>						
運賃・料金の水準	前回 0	3	81	14	2	(-14)
	今回 0	4	72	21	4	(-24)
	見通 0	5	68	24	4	(-28)
<p>・前回より10ポイント悪化した。地域別では四国が前回から改善している。品目別では建設関連が悪化し、水準は品目に関わらず悪化している。</p> <p>・今後はやや水準を下げる見込み。</p>						

5. 共通の概況

項目	概況						
	0%	20%	40%	60%	80%	100%	
実働率	前回	1	13	61	21	3	(-13)
	今回	1	17	50	26	6	(-18)
	見通	1	11	53	30	6	(-28)
<ul style="list-style-type: none"> ・前回より5ポイント悪化した。地域別では四国、東北、関東が前回から改善している。品目別では機械関連が改善し、水準は最も良い。 ・今後は水準を下げる見込み。 							
実車率	前回	1	13	62	21	3	(-13)
	今回	1	17	53	24	5	(-15)
	見通	1	12	55	28	4	(-23)
<ul style="list-style-type: none"> ・前回からほぼ横ばいである。地域別では四国、東北、関東、中部が前回から改善している。品目別では機械関連が改善し、水準は最も良い。 ・今後はやや水準を下げる見込み。 							
雇用状況 (人手の過不足)	前回	2	17	71	8	1	(11)
	今回	5	26	58	10	1	(24)
	見通	9	26	51	13	1	(28)
<ul style="list-style-type: none"> ・前回より13ポイント上昇した（やや不足感が高くなった）。地域別では東北、関東では水準が高く、やや人手不足となっている。 ・今後は指標が僅かに上昇するが、大幅な不足傾向ではない。 							
採用状況	前回	0	8	80	9	3	(-7)
	今回	0	9	73	15	3	(-12)
	見通	0	11	71	15	3	(-9)
<ul style="list-style-type: none"> ・前回より5ポイント悪化した。地域別、規模別、品目別の全てでほぼ前年並みとなっている。 ・今後は僅かに水準を上げる見込み。 							
所定外労働時間	前回	1	10	74	14	3	(-8)
	今回	1	10	69	18	2	(-10)
	見通	1	8	70	19	3	(-15)
<ul style="list-style-type: none"> ・前回から2ポイント悪化した。地域別、規模別、品目別の全てでほぼ前年並みとなっている。 ・今後はやや水準を下げる見込み。 							

項目	概況						
	0%	20%	40%	60%	80%	100%	
保有車両台数	前回	0	6	77	15	2	(-11)
	今回	1	11	71	16	1	(-6)
	見通	0	11	73	15	1	(-5)
<ul style="list-style-type: none"> ・前回より5ポイント改善した。地域別、規模別、品目別の全てでほぼ前年並みとなっている。 ・今後も今回とほぼ同様の水準の見込み。 							
貨物の再委託 (下請運送会社への 委託割合)	前回	0	10	71	15	5	(-14)
	今回	1	15	63	17	4	(-8)
	見通	1	14	62	19	4	(-12)
<ul style="list-style-type: none"> ・前回より6ポイント改善した。地域別では東北、関東、四国が前回から改善している。 ・今後は僅かに水準を下げる見込み。 							
経常損益	前回	1	13	49	31	6	(-30)
	今回	1	16	31	42	10	(-45)
	見通	0	10	31	49	9	(-57)
<ul style="list-style-type: none"> ・前回より15ポイント悪化した。地域別では四国が前回から改善している。 ・今後は水準を下げる見込み。 							
業界の景況感	前回	0	6	49	37	8	(-47)
	今回	0	13	33	44	10	(-49)
	見通	1	9	31	48	12	(-62)
<ul style="list-style-type: none"> ・前回より2ポイント悪化した。地域別では四国、東北、関東、中部が前回から改善している。 ・今後は水準を下げる見込み。 							

6. 事業者特性格別の特徴

事業者特性	特 徴																																																																		
①地域（注4）	<p>◆「業界の景況感」の業況判断指標の地方ブロック別順位◆</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2">H 2 3 年</th> <th colspan="2">H 2 4 年</th> <th colspan="2">H 2 4 年</th> </tr> <tr> <th colspan="2">1 0～1 2 月期前回</th> <th colspan="2">1～3 月期今回</th> <th colspan="2">4～6 月期見通</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 位</td> <td>東 北</td> <td>→</td> <td>東 北</td> <td>→</td> <td>東 北</td> </tr> <tr> <td>2 位</td> <td>北 海 道</td> <td>↘</td> <td>四 国</td> <td>↗</td> <td>中 部</td> </tr> <tr> <td>3 位</td> <td>中 国</td> <td>↗</td> <td>関 東</td> <td>↘</td> <td>関 東</td> </tr> <tr> <td>4 位</td> <td>中 部</td> <td>→</td> <td>中 部</td> <td>→</td> <td>四 国</td> </tr> <tr> <td>5 位</td> <td>九 州</td> <td>↘</td> <td>九 州</td> <td>↗</td> <td>中 国</td> </tr> <tr> <td>6 位</td> <td>北陸信越</td> <td>↗</td> <td>北 海 道</td> <td>↘</td> <td>近 畿</td> </tr> <tr> <td>7 位</td> <td>関 東</td> <td>↗</td> <td>近 畿</td> <td>↘</td> <td>九 州</td> </tr> <tr> <td>8 位</td> <td>近 畿</td> <td>↘</td> <td>中 国</td> <td>↗</td> <td>北陸信越</td> </tr> <tr> <td>9 位</td> <td>四 国</td> <td>↗</td> <td>北陸信越</td> <td>↘</td> <td>北 海 道</td> </tr> </tbody> </table>	H 2 3 年		H 2 4 年		H 2 4 年		1 0～1 2 月期前回		1～3 月期今回		4～6 月期見通		1 位	東 北	→	東 北	→	東 北	2 位	北 海 道	↘	四 国	↗	中 部	3 位	中 国	↗	関 東	↘	関 東	4 位	中 部	→	中 部	→	四 国	5 位	九 州	↘	九 州	↗	中 国	6 位	北陸信越	↗	北 海 道	↘	近 畿	7 位	関 東	↗	近 畿	↘	九 州	8 位	近 畿	↘	中 国	↗	北陸信越	9 位	四 国	↗	北陸信越	↘	北 海 道
H 2 3 年		H 2 4 年		H 2 4 年																																																															
1 0～1 2 月期前回		1～3 月期今回		4～6 月期見通																																																															
1 位	東 北	→	東 北	→	東 北																																																														
2 位	北 海 道	↘	四 国	↗	中 部																																																														
3 位	中 国	↗	関 東	↘	関 東																																																														
4 位	中 部	→	中 部	→	四 国																																																														
5 位	九 州	↘	九 州	↗	中 国																																																														
6 位	北陸信越	↗	北 海 道	↘	近 畿																																																														
7 位	関 東	↗	近 畿	↘	九 州																																																														
8 位	近 畿	↘	中 国	↗	北陸信越																																																														
9 位	四 国	↗	北陸信越	↘	北 海 道																																																														
②規模（注5）	<p>・業界の景況感は、規模が小さくなるほど水準が低い傾向にある。</p>																																																																		
③品目（注6）	<p>・消費関連貨物を扱う事業者では、前回と比べ景況感の水準は、ほぼ横ばいであった。一般貨物の輸送量としてみると、農水産品の水準が相対的に低い。今後は水準を下げる見込み。</p> <p>・建設関連貨物を扱う事業者では、前回と比べ景況感の水準を下げた。一般貨物の輸送数量としてみると、鉱産品や窯業品の水準が相対的に低い。今後は水準をやや上げる見込み。</p> <p>・機械関連を扱う事業者では、前回と比べ景況感の水準をやや上げた。一般貨物の輸送数量としてみると、輸送機械の水準が高く、電気機械やその他機械は水準が相対的に低い。今後は水準を下げる見込み。</p> <p>・その他貨物（生産関連）を扱う事業者では、前回と比べ景況感の水準は、ほぼ横ばいであった。一般貨物の輸送数量としてみると、石炭製品、鉱産品（石炭、石油等）、金属製品（刃物、工具等）の水準が相対的に低い。今後は水準をやや下げる見込み。</p> <div style="text-align: center;"> <p>業界の景況感(品目別、前回からの指標の増減)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品目別</th> <th>指標の増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>消費関連貨物</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>建設関連貨物</td> <td>(13)</td> </tr> <tr> <td>機械関連貨物</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>その他貨物(生産関連)</td> <td>(1)</td> </tr> </tbody> </table> </div>	品目別	指標の増減	消費関連貨物	0	建設関連貨物	(13)	機械関連貨物	6	その他貨物(生産関連)	(1)																																																								
品目別	指標の増減																																																																		
消費関連貨物	0																																																																		
建設関連貨物	(13)																																																																		
機械関連貨物	6																																																																		
その他貨物(生産関連)	(1)																																																																		

(注4) 地域分類は地方運輸局管轄地域区分に基づく。

(注5) 規模別分類

大規模事業者：101両以上

中規模事業者：21両以上100両以下

小規模事業者：20両以下

(注6) 品目別分類

消費関連貨物：農水産品、食料工業品、日用品など

建設関連貨物：林産品、砂利、砂、石材、建設用資材、窯業品（セメント等）など

機械関連貨物：電気機械（家電含む）、輸送機械（自動車等）など

その他貨物：石炭、原油、石油、化学、紙・パルプなど

7. 景況感一覽表

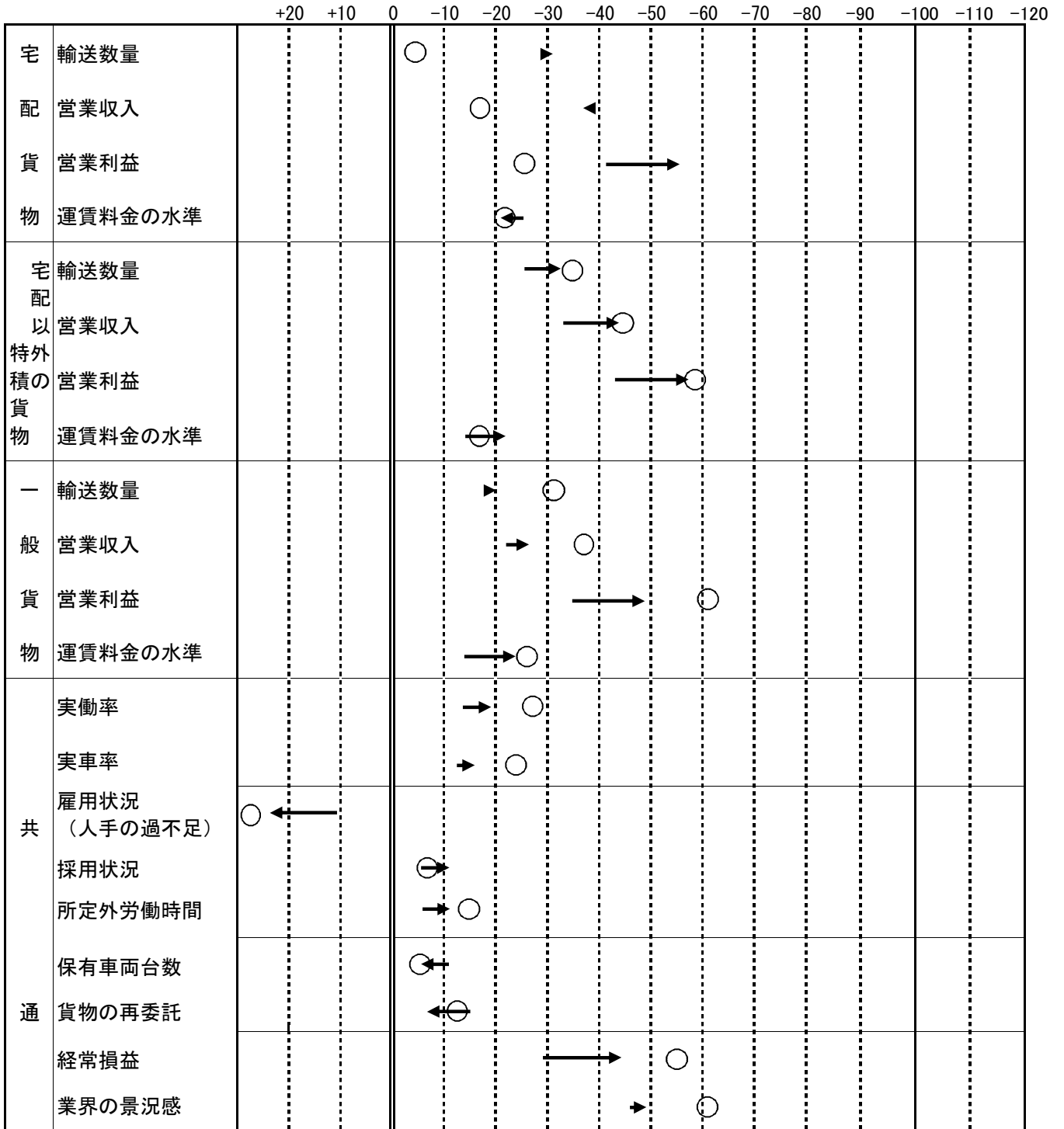
		特積貨物						一般貨物			雇用関連			総合計		
		宅配貨物			宅配以外の特積貨物											
全体		↘	↘	→	↘	↘	↘	↘	↘	↘	→	→	→	↘	↘	↘
地域	北海道	→	→	→	→	↘	↘	↘	↘	↘	→	→	→	→	↘	↘
	東北	↓	→	→	↓	↗	↗	→	→	→	→	→	→	↘	→	→
	北陸信越	↘	↘	→	→	↘	↓	→	↘	↓	→	→	→	→	↘	↘
	関東	↘	↘	→	↘	↘	↓	↘	↘	↘	→	→	→	↘	↘	↘
	中部	↘	↓	↘	↘	↘	→	↘	↘	↘	→	→	→	↘	↘	→
	近畿	↘	↓	↘	→	↘	↘	↘	↘	↘	→	→	→	↘	↘	↘
	中国	↘	↓	↓	→	↘	↓	→	↘	↘	→	→	→	→	↘	↘
	四国	↘	↗	↗	↘	↘	↘	↘	→	↘	→	→	→	↘	→	→
	九州	↘	↘	→	↘	↘	↘	↘	↘	↘	→	→	→	↘	↘	↘
事業者規模	小規模事業者	↘	↓	↘	↘	↓	↘	↘	↘	↘	→	→	→	↘	↘	↘
	中規模事業者	↘	↓	↘	↘	↘	↘	→	↘	↘	→	→	→	↘	↘	↘
	大規模事業者	↘	↘	→	↘	↘	↘	↘	→	→	→	→	→	↘	→	→
取り扱い品目	消費関連貨物	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘	→	→	→	→	↘	↘
	建設関連貨物	↘	↘	↘	→	↓	↓	→	↘	↘	→	→	→	→	↘	↘
	機械関連貨物	↘	→	→	↘	↘	↘	↘	↘	↘	→	→	→	↘	↘	↘
	その他貨物	↓	↓	↘	↘	↘	→	↘	→	↘	→	→	→	↘	↘	↘

(注7) 各項目は、関連する判断指標（前年同期に対する水準）から平均値を算出。
貨物別については、輸送数量、営業収入、営業利益、運賃水準の平均値で判断。

凡例 ・ 各欄は、左：前回（10-12月） 中央：今回（1-3月） 右：見通（4-6月）
・ 矢印と判断指数の対応

判断指数	...	-100	...	-60	...	-20	...	+20	...	+60	...	+100	...
矢印		↓		↓		↘		→		↗		↑	

8. 業況判断指標の前回調査（平成23年10月～12月期）からの変化

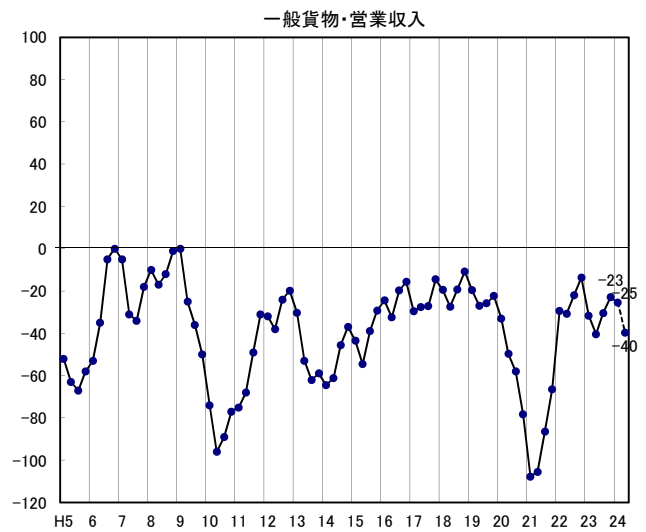
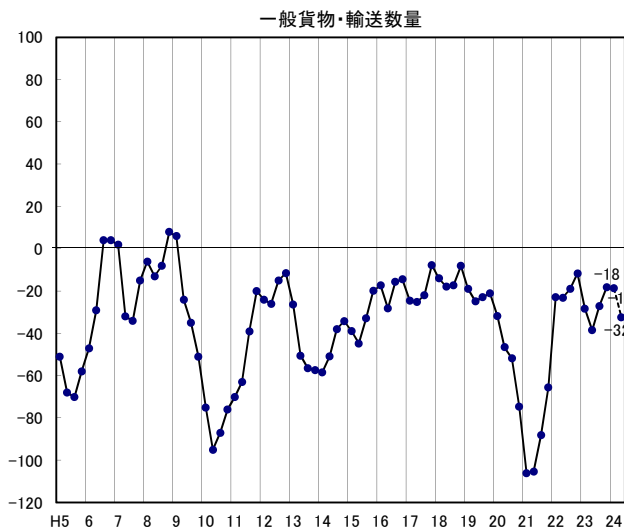
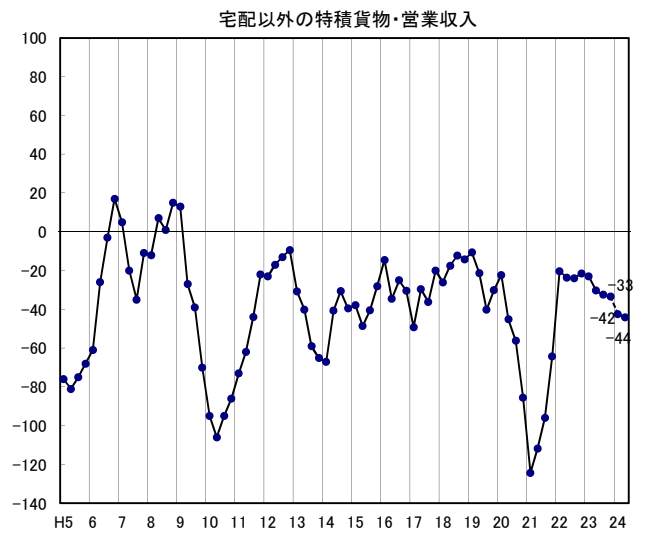
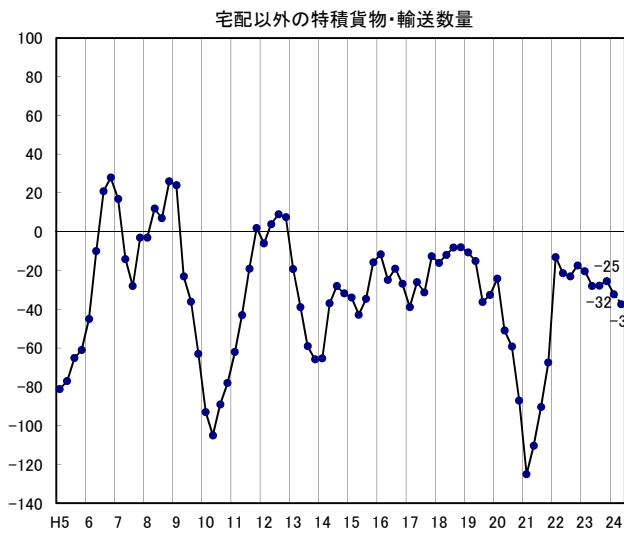
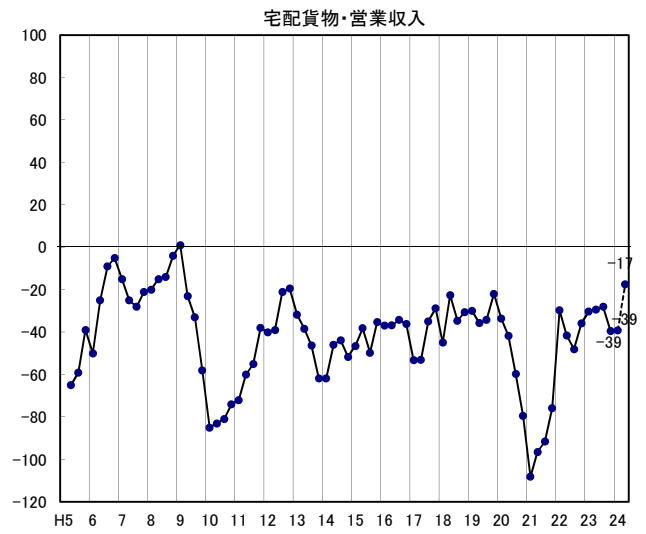
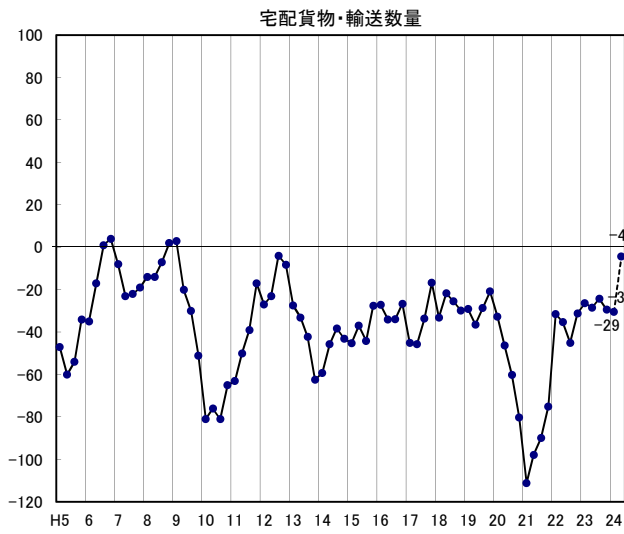


凡 例

矢元： 10-12月期の実績	矢先： 1-3月期の実績	白丸： 4-6月期の見通
-------------------	-----------------	-----------------

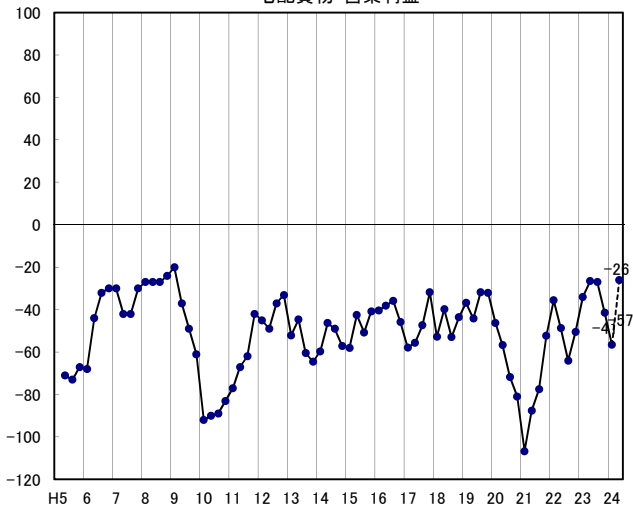
9. 業況判断指標の推移

平成5年第1四半期～平成23年第4四半期実績、平成24年第1四半期見通し

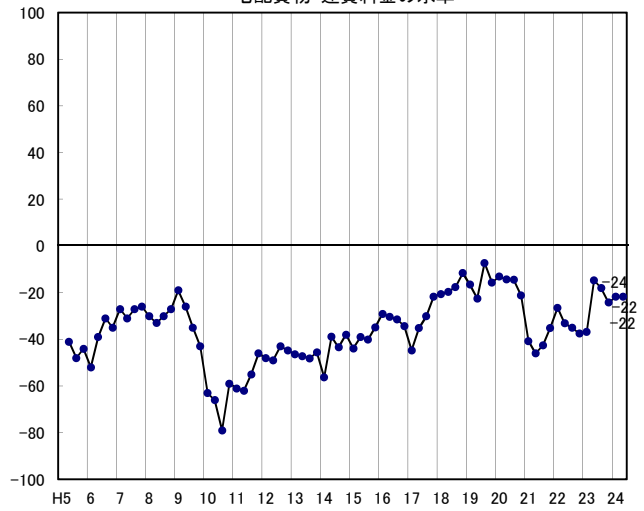


平成5年第1四半期～平成23年第4四半期実績、平成24年第1四半期見通し

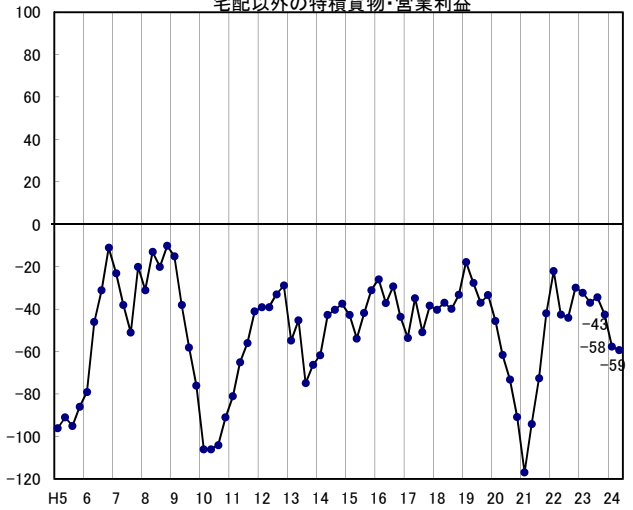
宅配貨物・営業利益



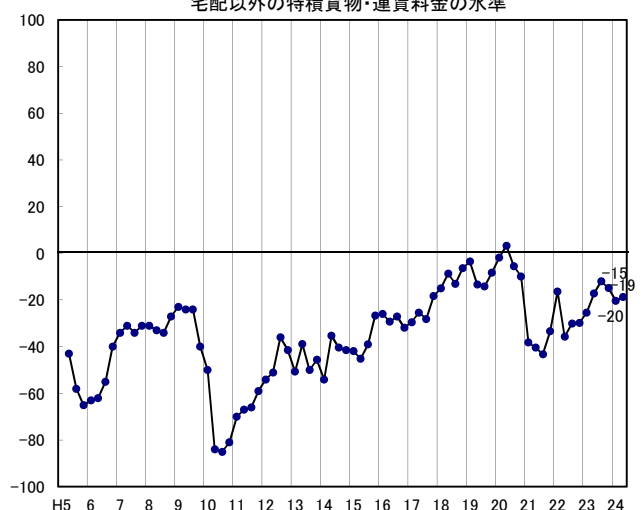
宅配貨物・運賃料金の水準



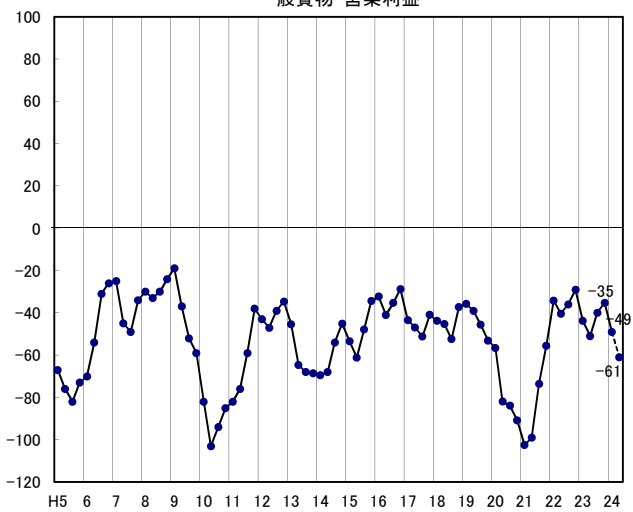
宅配以外の特積貨物・営業利益



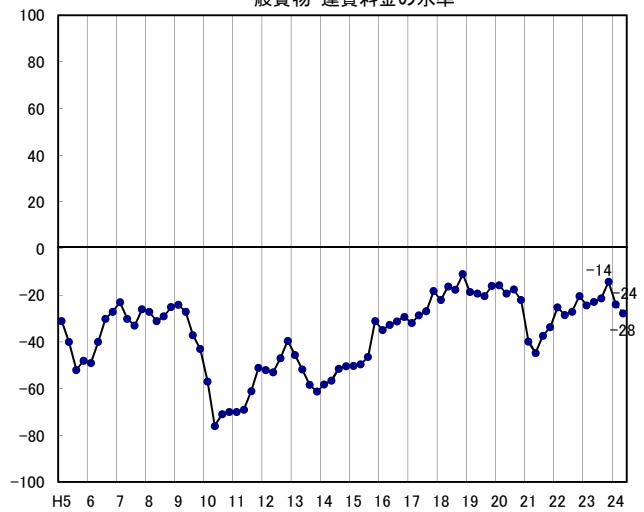
宅配以外の特積貨物・運賃料金の水準



一般貨物・営業利益

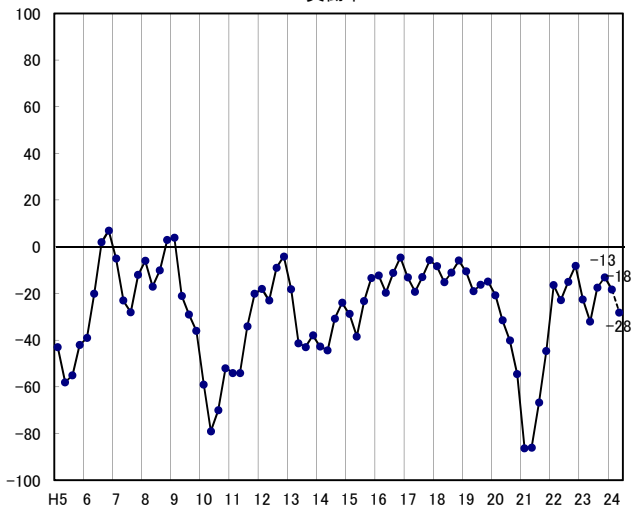


一般貨物・運賃料金の水準

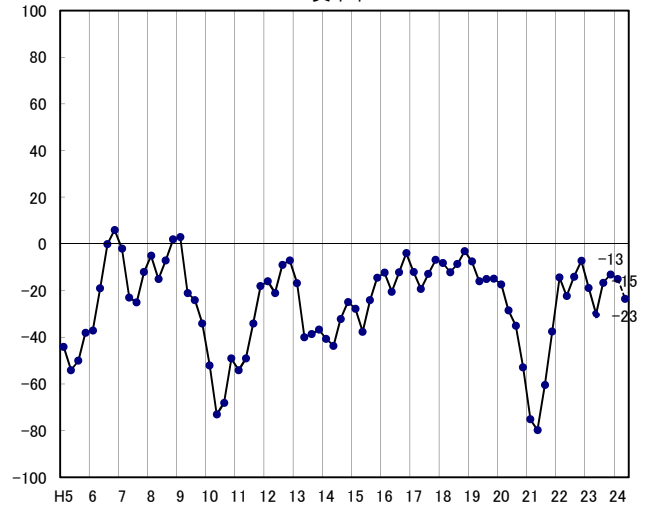


平成5年第1四半期～平成23年第4四半期実績、平成24年第1四半期見通し

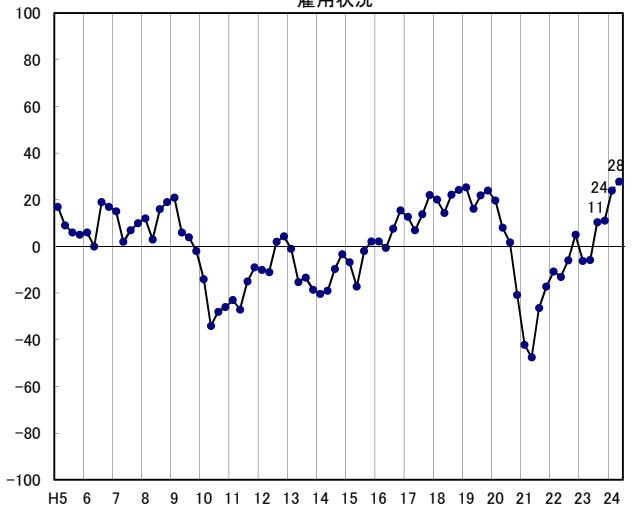
実働率



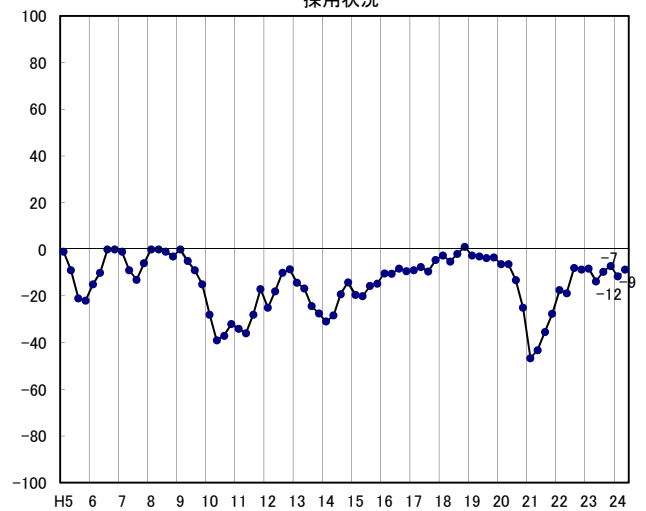
実車率



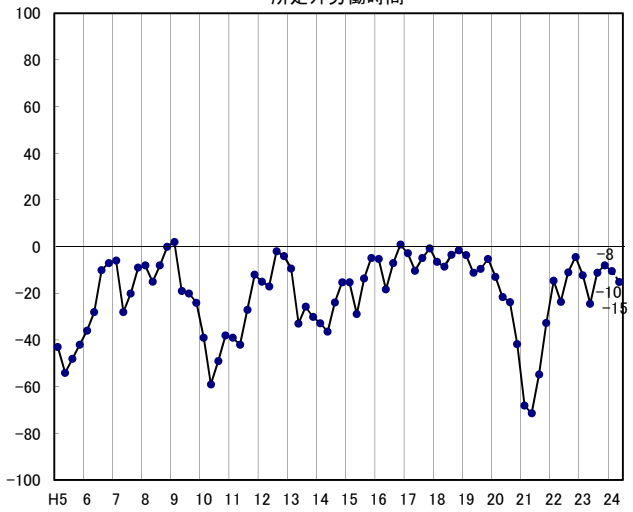
雇用状況



採用状況

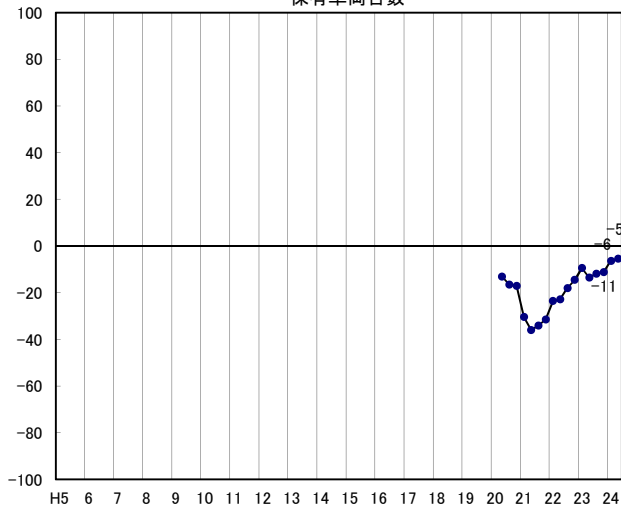


所定外労働時間

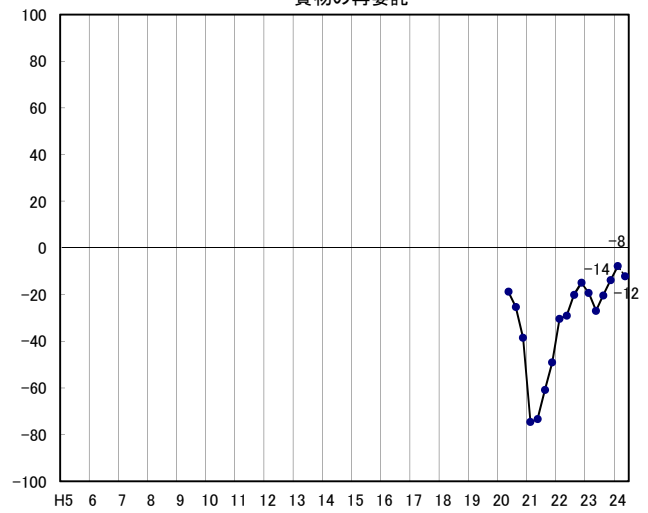


平成5年第1四半期～平成23年第4四半期実績、平成24年第1四半期見通し

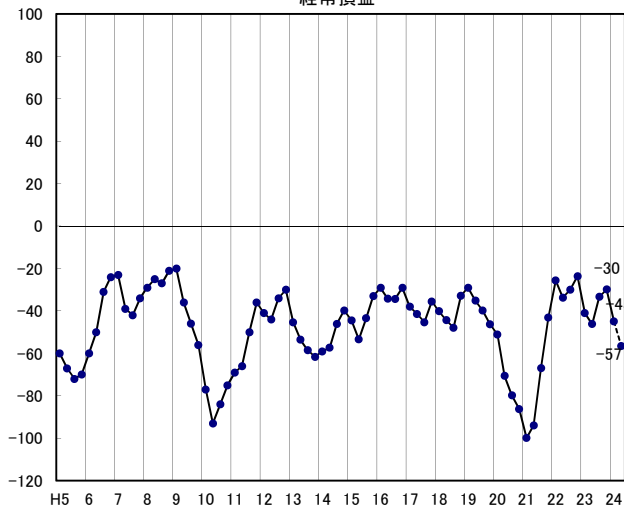
保有車両台数



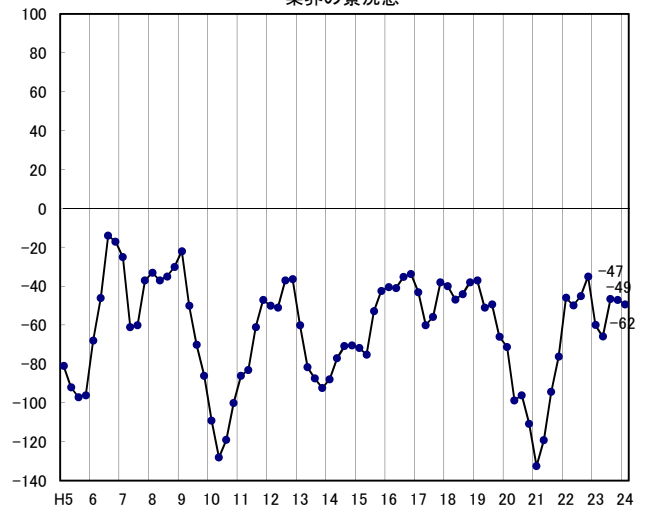
貨物の再委託



経常損益

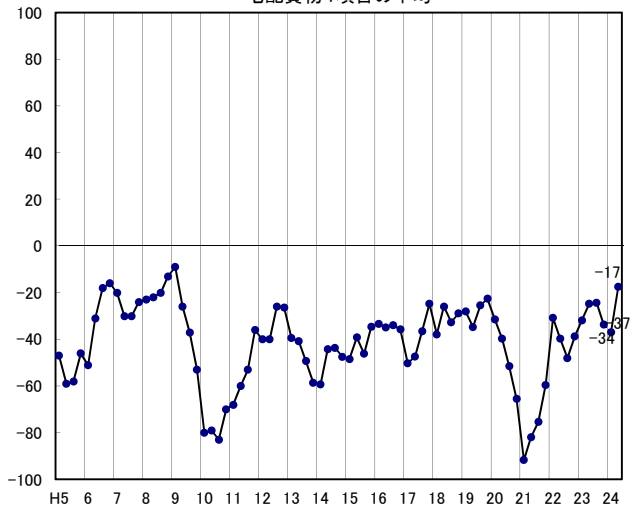


業界の景況感

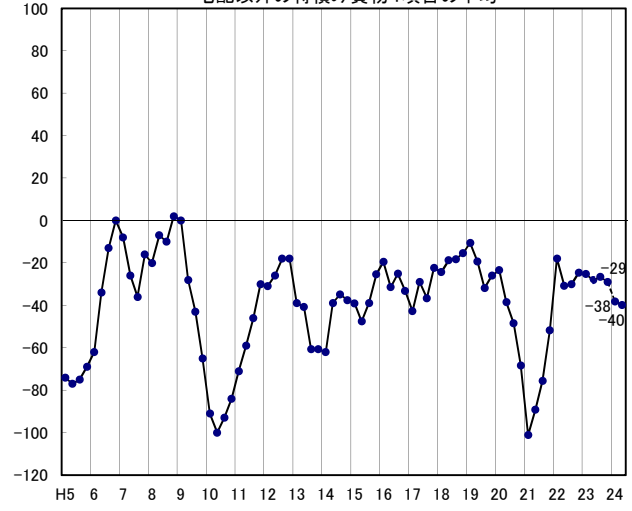


平成5年第1四半期～平成23年第4四半期実績、平成24年第1四半期見通し

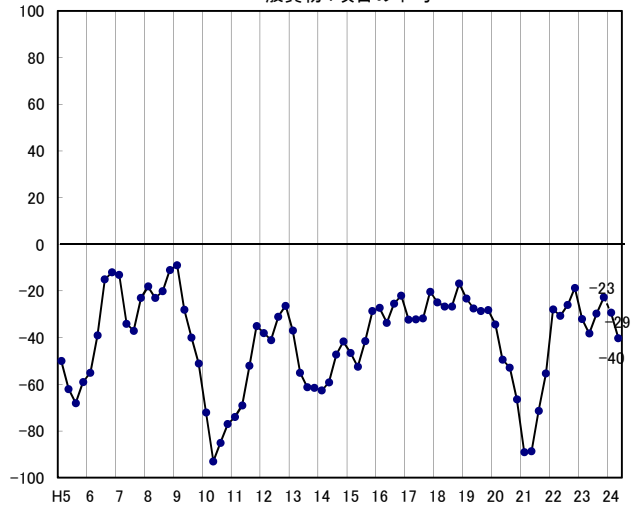
宅配貨物4項目の平均



宅配以外の特積み貨物4項目の平均



一般貨物4項目の平均



全項目の平均

